

わっさむの環境対策



NO. 3

和寒町地球温暖化対策実行計画

和寒町では、行政としての模範的、先導的な役割を果たすことができるよう一事業所（役場）として取り組むことのできる、温室効果ガス削減目標や地球温暖化防止に向けた取り組みを先月号に引き続きご紹介しています。

1 直接的効果の取り組み

【燃料】

公用車

公用車の一元管理を図り、効率的運用に努めます。

アイドリングストップの徹底を図ります。

急発進、急加速、急ブレーキのないような安全運転の徹底を図ります。

暖気運転は必要最小限とし、燃費向上に努めます。

利用時間、行き先等の調整が可能な場合は乗り合わせて利用できるように検討します。

市街への外勤は業務に支障のない限り自転車や徒歩を心がけ、公用車の利用の低減を図ります。

公共施設適正配置検討プロジェクトで出される、「公用車の効率的運

用と環境に配慮した取り組み」と連携し、温室効果ガス削減に向けた取り組みとします。

「公用車の効率的運用と環境に配慮した取り組み」とは、役場職員で組織する「公共施設適正検討プロジェクト」によって作成されたもので、

公用車の使用状況や維持管理を検証することにより、将来に向かっての

【効率的な運用】維持管理費用の縮減【適正配置】環境に配慮した取り組み】を検証したものです。

【廃棄物】

ごみの分別・リサイクルを徹底し埋立ごみの減量に努めます。

事務用品、電気製品、OA機器等が故障した場合は、可能な限り修理して使用するなど長期間の利用を心がけ、更新する場合は省エネタイプの

機器の購入を検討します。

機器の購入を検討します。

未使用物品、不要物品を必要な部署で使用する取り組みを実施します。

イベントや会議等の飲食の提供は数量に配慮するとともに、廃棄物の発生を抑制するように努めます。

【その他】

庁内での文書は庁内LAN等を活用し、ペーパーレスに努めます。

コピー、印刷物は両面使用を基本とし、紙の使用量の削減に努めます。

ミスコピー、ミス印刷した用紙は可能な限り裏紙として再利用します。

シュレッダー処理を必要最小限とし両面使用した用紙は可能な限り分別回収し、リサイクルします。

会議等の資料は可能な限り両面印刷し、必要最小限の資料となるように努めます。

封筒は、可能な限り再利用に努めます。

す。

2 間接的効果の取り組み

【水道】

温室効果ガス削減の対象項目ではありませんが、水道を使用することで温室効果ガスの排出に繋がることから、本計画では上水道の使用量についても削減に向けた取り組みを実施します。

す。

基準年（平成19年度）使用量

3万2千629㎡

目標年（平成24年度）使用量

3万1千487㎡

削減率

3.5%

削減量

1千142㎡

トイレの擬音装置等の導入を検討します。

芝生や植木等の散水は雨水等を利用する工夫をし、効率的・計画的に実施します。

水の節水を常に心がけます。

【物品購入】

コピー用紙やその他の用紙は可能な限り再生紙を購入します。

文具、事務用品等は必要性を十分考慮し、最小限の購入量とします。また、購入の際には、エコマークやグリーンマークなどの環境ラベルが表示されている製品の購入を心がけます。

プリンター、カートリッジ等はリサイクル可能な製品の購入に努めます。

購入時は可能な限り簡易包装となるように業者に依頼します。

機器等の購入には省電力タイプで、リユース・リサイクルが容易な製品の購入を検討します。

す。